

解答

問三	問二	問一
① ①	⑭ ⑧	①
口 む	ゆだ	健 「やか」
② ②	〔ねる〕	標準 「ねる」
面 は		②
③ ③	〔15〕	念頭 ⑨
水 ど	いたわ	③ 拾 「う」
④ ④	〔る〕	実現 ③
頭 び		④ 現実 〔る〕
⑤ ⑤		④ 固定 がく
腹 し		⑤ 辞退 〔こうぞう〕
		⑥ 訓練 〔てんきょ〕
		⑦ 任 「せる」 〔せい〕
		⑧ つい 「やす」 〔やす〕

問一 ちょっとした不調
問二 A ウ B オ
問三 イ
問四 病原体や、それが媒介される感染メカニズム
問五 一人ひとりの子どもの見方や考え方を尊重し、子どもが求めている」とを当事者の目線に寄り添って理解しようとすること。

三
問一

問七 イ なぜ二人の子どもを助けてあげられなかつたのかと自分を責め続ける気持ち。
問六 イ 何もかも失つて打ちひしがれている人たちが立ち直り、内にある生きる力が引っ張り出されるよう、支え
続ける一人として生きたい。

解説

問四 同じ段落で「病原体であるマラリア原虫や、マラリア原虫がハマダラカという蚊によって人から人へと媒介されていく感染メカニズムなどに注目する」とあります。

「子どものいのちを守るために、病気や障がいなどの問題に向き合うときには」「いのちの想い手である一人ひとりの子どもの見方や考え方を尊重し、そのニーズなどを当事者の子どもの目線に寄り添つて理解しようとすること」と述べられています。

三

筆者は「生きている人とのヨコのつながりだけでなく、三八億年のタテの命のつながりの中でも、ぼくらは生きている」と、人と人とのつながりをタテ系とヨコ系に例えています。「ぼくも、その細い一本であり続けたい」とは、何もかも失つて打ちひしがれている人たちを支え続ける一人の人間でありたいということを表しています。